

事業報告書

平成30年度

社会福祉法人 大木町社会福祉協議会

平成 30 年度事業報告

I. 事業総括

近年、少子高齢化社会や核家族化が一段と進んでおり、その中において人口は減少し多くの地域において労働力の担い手不足を招き、その結果耕作放棄地や空き家など様々な課題が顕在化するとともに、高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加してきています。

現在、当社協では高齢者の生活支援体制整備に関して町の委託を受け、住民のみなさんが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるようにするために、住民が主体となり介護・生活支援等が一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築する取り組みを町と一緒に推進しています。

サロン事業では、行政区によっては地域支援体制整備事業（協議体）の説明を行う際一緒にサロン事業の説明を行う等により、新規に3行政区1か所のふれあいいいきいきサロンが立ち上り、新年度からの事業実施に向けて体制を整えた地区が1か所となりました。地域活動のための大木町ボランティア養成研修では、町と協力して養成講座を開設し、今年度は新規に16人が講座を修了し現在町や当社協事業のボランティアとして活動していただいています。

新規事業である元気クラブ、認知症カフェの事業では、町と協力しながら順調に事業を実施いたしました。また、ライフレスキュー事業では、当社協と大木町内の社会福祉法人、および福岡県社会福祉協議会と連携を図る体制づくりができました。

障がい者の居場所づくりでは、今年度は試行的に事業を行い、参加者からも好評であったことから、平成31年度においては定期的に事業を実施することになりました。

このように当社協は大木町の地域福祉の推進を図るため、町・福岡県社会福祉協議会並びに関係機関と連携を密にすることにより、誰もが安心して暮らせる元気な地域社会づくりの推進活動に努めてまいりました。その結果、当社協の事業において一定の成果を上げることができ、これも関係者各位のご協力の賜物と感謝し事業報告といたします。

II. 重点目標

1. 生活支援体制整備事業における協議体の設立及び円滑な運営

平成30年6月に大木町全体の協議体「ささえ隊」が設立され、12月にはささえ隊作戦委員会を開催しました。また、3小学校区において校区部会や行政区等でささえ隊の会議が開催される等地域の理解や協力も徐々に得られ順調な運営ができました。

2. サロン事業の活性化

サロン事業については、職員ができるだけサロンの実施地区を訪問し、サロン活動が活性化できるように促しました。また、サロン事業を実施していない行政区に対して生活支援体制整備事業（協議体）の説明と合わせてサロン事業の説明を行い、サロン事業が開始された地区や再度詳細な説明を聞きたいという地区もありました。

3. 新規3事業の円滑な運営

元気クラブ、認知症カフェについては、町や他の事業所からの協力や生活支援体制整備事業で実施した大木町ボランティア養成研修修了者がこの事業のボランティアとして参加していただき、新規事業の体制も整い円滑な運営ができました。ライフレスキュー事業では、大木町内の社会福祉法人との連携を図り、生活困窮者の迅速かつ根本的な生活改善に向けて取り組む体制ができました。

Ⅲ. 各事業報告

法人運営

1. 法人運営事業

大木町における社会福祉の向上を図るため、事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により地域福祉の推進を図り、行政や関係機関と協力して事業を行いました。

2. 生活福祉資金貸付事業 <県社協受託事業>

低所得者、障がい者又は高齢者に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより経済的自立や生活意欲の助長、並びに在宅福祉と社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう事業を行いました。

また、生活困窮者支援については生活保護に至る前の方の自立支援を強化するために、生活困窮者自立支援法が施行され、福岡県自立相談支援事務所や町と連携を取りながら対応を行いました。

【今年度中に貸付けた資金の種類】

- | | | |
|----------------|--------|---------|
| ① 総合支援資金：生活支援費 | 相談 1 件 | 貸付け 0 件 |
| ② 総合支援資金：福祉費 | 相談 1 件 | 貸付け 0 件 |
| ③ 教育支援資金：教育支援費 | 相談 1 件 | 貸付け 0 件 |
| ④ 不動産担保型生活資金 | 相談 1 件 | 貸付け 0 件 |

今年度においては、貸付けの相談はあったものの、時間に余裕がなかったり、生活福祉資金の条件に満たらなかつたりしたため、申請には至りませんでした。そのため、独自事業の生活支援資金で貸付けており、今年度貸付けた3件はすべて全額返済されており、平成29年度以前に貸付けた方で未返済の方には、それぞれ訪問し現状の把握と返済計画の見直しを行いました。その結果、無理のない金額で返済されています。

※ 平成29年度貸付け者の返済 1件3回

【民生委員の調査活動協力】

本貸付事業の要請に基づく借受人の調査及び生活実態の把握を当社協と情報を共有し、借受人等の自立更生に関する生活全般にわたる支援者として貸付け申込み時に、借受け対象者から事情を聴き、状況を把握したうえで意見書を書いていただきました。

【研修】

○生活福祉資金事務説明会 平成30年6月21日（木）

3. 心配ごと相談事業

住民の福祉の増進を図ることを目的に、住民の日常生活上のあらゆる相談に弁護士が応じ、適切な助言を行いました。相談は無料ですが、事前に毎月4名まで予約を取り実施しました。

相談日 毎月第2火曜日（原則）

相談員 福岡県弁護士会 筑後部会所属弁護士

相談時間 13：30～15：00 まで（1件当たり約20分）

《法律相談件数》

H30 年度 (H29 年度 34 件)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件数	4	4	3	3	3	4	4	3	4	1	4	1	38
家事関係	クレサラ関係		その他 (民事)			交通事故関係			行政事件				
18 件	1 件		17 件			2 件			0 件				

4. 日常生活自立支援事業 < 県社協受託事業 >

社会福祉法に基づき、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などに不安がある方々が住みなれた地域で安心して暮らせるよう、基幹社協（筑後市社会福祉協議会）と連携し、日常的な金銭管理等のサービスを行いました。

【 福祉サービスの利用援助 】

- ① 福祉サービスの情報の提供や利用するための助言、開始・解約の手続き支援
- ② 福祉サービスについて不満がある時、苦情解決制度を利用する手続き支援

【 日常的な金銭の管理 】

- ① 年金や福祉手当等の受領に必要な援助
- ② 生活費の定期的なお届け、お金の使い方についての相談、助言
- ③ 福祉サービス利用料や医療費、公共料金や家賃等の支払い援助

【 書類などの預かり (保管できるもの) 】

《日常生活自立支援事業契約者数》

上段 H30 年度 (下段 H29 年度)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
人員	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
	3	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3	3

利用者数：3 人（うち 1 人は成年後見制度への移行により契約終了となりました。）

【 研修等 】

- 生活支援員実務者研修 平成 30 年 10 月 31 日(水)
- 福岡県日常生活自立支援事業 業務委託事務説明会 平成 31 年 3 月 13 日(水)

5. 大木町障がい者スポーツ大会 < 受託事業 >

町内の障がい者がスポーツを通じてその人らしさを表現し、健康・体力の維持増進を図るとともに、参加者相互の交流を促進しながら、住民の障がいに対する関心と理解を深め、障がい者の自立と社会参加を目的に実施しました。

第 3 回目の開催となった今年度は、親子での参加が多く全体の参加者も増えました。普段の生活ではできていないスポーツをみんなで楽しまれていました。

また、今年度は観客のスペースを設けたことにより、多くの観客の応援と学生ボランティアに支えられて実施することができました。

【 障がい者スポーツ大会 】

実施日 平成30年11月11日(日) 13:00~16:00 大木町総合体育館
参加者数 39名(障がい者数)

6. ふくおかライフレスキュー事業 <新規事業>

社会福祉法の改正により、公益性、非営利性が極めて高い社会福祉法人には、「地域における公益的な取組」を実施することが責務として規定されました。福岡県においては、福岡県社会福祉法人経営者協議会を中心に、地域における公益的な取組の一つとして、複数法人の連携による「ふくおかライフレスキュー事業」が進められており、大木町内の社会福祉法人との連携を図り、生活困窮者の迅速かつ根本的な生活改善に向けて取組む体制ができました。

- 大木町内の社会福祉法人での会議 1回
- ライフレスキューの受付 1件(社会福祉法人 大福会が対応)

介護予防・日常生活支援総合事業

おおむね65歳以上の高齢者で加齢により心身の機能が衰えている人(閉じこもりを含む)等に対し、心身機能の回復を図るために、簡単な訓練を行い、日常生活の自立及び介護予防に努めました。要支援者が介護保険の該当者から町の事業へと移行し、虚弱な高齢者の利用者の参加が増加したため、受ける側の職員の数や専門職を配置する等職員体制の充実を図り安定した事業を行いました。

1. もみじ倶楽部事業 <受託事業>

介護予防が必要な高齢者を対象に公用車を利用して送迎を行い、様々な体操やレクリエーション、簡単な手作業等を行いました。4月と10月には国際医療福祉大学、みずま高邦会病院、アクアスポーツクラブと合同で「もみじ倶楽部」利用者の体力測定を行い、測定結果を基にそれぞれの利用者に助言を頂き、体力向上に努めることができました。日中一時支援事業所「ともだち」の子どもたちの長期休み期間では、一緒に体操やレクリエーション、夏祭り、クリスマス会を行い子どもたちとの交流ができました。

また、今年度も3名の方が皆勤賞として簡易な表彰を行い、皆さんに紹介いたしました。

《 もみじ倶楽部 利用状況 》

上段 H30 年度(下段 H29 年度)

	実施回数	男性	女性	延人数	ボランティア	校区別		
						大溝	木佐木	大莞
4月	12	0	137	137	42	72	42	23
	12	0	138	138	38	73	42	23
5月	13	0	150	150	49	85	45	20
	11	0	137	137	38	77	38	22
6月	13	0	136	136	44	66	41	29
	14	0	151	151	48	79	43	29
7月	12	0	110	110	34	65	32	13
	11	0	109	109	34	53	32	24

8月	13	0	134	134	47	69	47	18
	12	0	121	121	38	74	30	17
9月	12	0	131	131	40	71	48	12
	13	0	141	141	36	70	42	29
10月	13	0	124	124	46	71	43	10
	12	0	128	128	36	68	38	22
11月	14	0	129	129	48	70	49	10
	12	0	133	133	27	80	41	12
12月	12	0	125	125	36	73	45	7
	11	0	125	125	28	65	38	22
1月	11	0	105	105	33	62	37	6
	11	0	115	115	38	59	39	17
2月	12	0	123	123	37	67	48	8
	12	0	129	129	42	70	43	16
3月	13	0	131	131	39	71	51	9
	13	0	147	147	43	73	45	29
計	150	0	1535	1535	495	842	528	165
	144	0	1574	1574	446	841	471	262

平成30年度新規利用者、終了者数

	新規利用者	体験利用者	介護保険へ移行	その他理由で終了
4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	0	0	2	0
7月	0	0	1	0
8月	2	2	1	0
9月	1	1	3	0
10月	0	0	1	0
11月	0	0	0	0
12月	3	3	1	1
1月	1	1	0	0
2月	0	0	0	0
3月	1	2	1	0
合計	8	9	10	1

もみじ倶楽部利用者年齢構成（登録者 36 名）（H31 年 3 月末現在）

年齢	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳
人数	2	1	5	9	12	7

※平均年齢 84 歳

介護保険認定状況（H31 年 3 月末現在）

介護保険未申請者	要支援 1	要支援 2
32 名	3 名	1 名

【 特別プログラム 】

- ① 体力測定
身長・体重・血圧・認知機能検査・長座体前屈・TUG・2 ステップ・SPPB バランス・開眼片脚立位時間・4m 歩行・LAS・BOCA・握力
前期平成 30 年 4 月 25 日(水)・26 日(木)・27 日(金)
後期平成 30 年 10 月 3 日(水)・4 日(木)・5 日(金)
- ② 社会見学（くすり博物館）
平成 30 年 5 月 29 日(火)
- ③ 口腔機能向上事業
平成 30 年 5 月 23 日(水)・24 日(木)・25 日(金)、8 月 22 日(水)・23 日(木)・24 日(金)
11 月 28 日(水)・29 日(木)・30 日(金)、平成 31 年 3 月 12 日(水)・13 日(木)・14 日(金)
- ③ パン作り
平成 30 年 10 月 17 日(水)・18 日(木)・19 日(金)
- ④ 介護予防栄養講話
平成 30 年 7 月 25 日(水)・26 日(木)・27 日(金)
平成 31 年 1 月 30 日(水)・31 日(木)・2 月 1 日(金)
- ⑤ 薬剤師講話
平成 30 年 9 月 12 日(水)・13 日(木)・14 日(金)
- ⑥ 夏祭り（ヨーヨーつり）
平成 30 年 8 月 8 日(水)・9 日(木)・10 日(金)
- ⑦ 音楽教室
平成 30 年 9 月 19 日(水)・20 日(木)・21 日(金)
- ⑧ 音楽レクリエーション
平成 31 年 1 月 30 日(水)・2 月 14 日(木)・3 月 8 日(金)
- ⑨ スタッフ・ボランティア研修
平成 30 年 7 月 5 日(木)
平成 30 年 10 月 16 日(火)・17 日(水) リスクマネジメント研修
平成 30 年 11 月 6 日(木) 介護予防担当者研修
- ⑩ 絵画教室
平成 30 年 10 月 30 日(水)・11 月 1 日(木)・11 月 2 日(金)
- ⑪ ボランティア団体との交流（大木ハワイアンフラ）
平成 31 年 3 月 13 日(水)・14 日(木)・15 日(金)
- ⑫ 大木町身体障害者福祉協議会との交流会（栄養についての講話等）
平成 30 年 11 月 28 日(水)
- ⑬ 日中一時支援「ともだち」との交流（クリスマス会）
平成 30 年 12 月 26 日(水)・27 日(木)

⑭ 食生活改善推進会とのおやつ交流
平成 31 年 1 月 9 日(水)・10 日(木)・11 日(金)

⑮ イオンへ外出
平成 30 年 9 月 20 日(木)・平成 31 年 1 月 18 日(金)

【 実習・職場体験等の受入れ 】

- ① 大木中学校教諭 平成 30 年 7 月 25 日(水) 1 名
- ② 木佐木小学校教諭 平成 30 年 8 月 1 日(水) 1 名
- ③ 大溝小学校教諭 平成 30 年 8 月 2 日(木) 1 名
- ④ 大溝小学校教諭 平成 30 年 8 月 3 日(金) 1 名

2. 生活支援ホームヘルプサービス事業 <受託事業>

日常生活に支障のある高齢者等に対してホームヘルパーを派遣することにより、安心して日常生活を営むことができるよう生活全般の支援を行ない、高齢者の介護予防や、自立と社会参加を促進しました。支援内容は下記のとおりです。

○家事に関すること

調理、衣類の洗濯・補修、居室等の掃除、整理整頓、生活必需品の買い物、関係機関等との連絡調整、その他必要な家事支援

○身体介護に関すること

入浴介助、洗髪、清拭、排泄介助、食事介助、衣服の着脱介助、通院介助、その他必要な身体介護

○相談、助言に関すること

生活、身上、介護に関する相談、助言、その他必要な相談、助言

《 生活支援ホームヘルプ利用状況 》

上段 H30 年度(下段は H29 年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	9	6	5	5	5	5	4	4	3	3	4	4	57
	11	8	7	6	5	6	6	6	6	7	9	7	84
利用者 延回数	38	34	27	34	25	20	19	22	12	12	25	22	290
	55	22	27	20	20	24	26	23	26	24	36	33	336

3. 元気クラブ <受託事業>

一人暮らし、または高齢者世帯で買い物支援が必要な高齢者を対象に、買い物と介護予防プログラムを総合的に組み合わせた教室を行いました。今年度は(株)くまもと健康支援研究所が介護予防の体操等を担当し当社協は買い物支援を担当するかたちで共同事業としてを進めました。

またボランティアの研修の場として、ボランティア養成講座の受講終了者にボランティアとして活動していただきました。

《 元気クラブ利用状況 》

	実施回数	男性	女性	延人数	ボランティア	校区別		
						大溝	木佐木	大莞
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	1	0	8	8	3	2	5	1
6月	4	0	34	34	9	9	21	4
7月	5	0	50	50	14	9	37	4
8月	3	0	31	31	8	7	21	3
9月	4	0	33	33	13	5	25	3
10月	5	0	45	45	15	10	28	7
11月	4	0	35	35	7	8	21	6
12月	4	0	33	33	9	8	20	5
1月	4	0	35	35	10	5	24	6
2月	4	0	38	38	11	6	26	6
3月	4	0	29	29	9	5	18	6
計	42	0	371	371	108	74	246	51

平成30年度新規利用者、終了者数

	新規利用者	他事業へ移行	介護保険へ移行	その他理由で終了
4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	0	0	0	0
7月	1	0	0	0
8月	0	1	0	0
9月	0	0	0	0
10月	2	1	0	0
11月	0	1	0	0
12月	1	0	0	0
1月	0	0	0	0
2月	0	2	1	0

3月	0	0	0	0
合計	4	5	1	0

【 ボランティア研修 】

- 平成 30 年 7 月 9 日(月)
- ・大木町の介護予防・日常生活支援総合事業
 - ・「元気クラブの活動について」
 - ・グループワーク

高齢者在宅支援事業

1. 配食サービス事業 <受託事業>

在宅の一人暮らし高齢者・高齢者のみの世帯および障がい者等で食事の調理が困難な方に対して、栄養等に留意しその季節にあった旬のものを取り入れるなど、楽しい食生活の確保と健康管理に努めました。また、利用者の安否の確認と孤独感の解消にも努めました。

なお、この事業は行政の指導に従い、平成 31 年 4 月から公益財団法人シルバー人材センターへ全面移行することになったため、当社協事業としては今年度で終了いたしました。

《配食サービス利用状況》

上段 H30 年度（下段 H29 年度）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
稼働日数		20	21	21	19	20	18	22	21	19	19	19	20	239	
		20	20	22	17	19	20	21	20	20	19	19	21	238	
配食数		772	836	829	712	739	675	815	751	643	630	672	708	8,782	
		794	824	864	719	774	811	858	793	778	705	721	793	9,434	
1日平均		38	39	39	37	36	37	37	35	33	33	35	35	434	
		39	41	39	42	40	41	40	40	39	37	37	38	473	
利用者数		56	59	57	53	53	55	57	55	54	51	52	53	655	
		59	60	58	57	59	58	63	62	59	56	54	58	703	
利用者内訳	独居		35	36	36	34	34	36	37	36	35	35	36	37	427
			40	41	42	40	41	40	41	40	38	36	34	36	469
	老夫婦		16	18	16	15	15	15	16	15	15	13	13	14	181
			13	13	11	12	13	13	16	16	15	14	14	16	166

	その他	5	5	5	4	4	4	4	4	4	3	3	2	47
		6	6	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	68
利用者日別	週5回	23	24	24	24	23	23	22	22	24	18	21	21	269
		22	21	22	22	25	24	23	22	24	23	22	25	275
	週4回	7	8	7	6	8	6	8	8	5	7	7	6	83
		10	12	11	11	10	11	13	14	10	7	10	8	127
	週3回	14	17	18	16	12	17	17	15	17	17	16	17	193
		14	14	13	11	9	12	13	13	13	13	11	13	149
	週2回	7	6	3	3	6	5	5	5	4	5	4	5	58
		8	8	8	9	12	6	8	9	7	9	7	8	99
	週1回	5	4	5	4	4	4	5	5	4	4	4	4	52
		5	5	4	4	3	5	6	4	5	4	4	4	53

※平成 30 年7月2日、7月3日は台風接近のため、配食を中止しました。

【調 理】

社会福祉法人山ノ井会及び、(株)ビストロくるるんの2社に委託しました。

【配達・回収】

配達には4コースに分けて配達し、利用者に直接手渡しすることで安否確認を行いました。また、その日のうちに弁当箱の回収を行い、食べ残し等衛生上の問題を防ぐことや食事量を確認することで大まかな健康状態の把握に努めました。

居宅介護事業

1. 基準該当障害福祉サービス居宅介護等事業

障がいにより居宅において自立した日常生活を営むことが難しい方が、町に福祉サービスの利用申請を行い、支給量が決定された利用者に対して家事支援および、身体介護の支援計画を作成し福祉サービスを行いました。支援に関しては、利用者の意思及び人格を尊重し生活全般の援助、保健・医療・福祉サービスの連携に努め、適切な居宅介護を提供しました。

《居宅介護サービス利用状況》

上段 H30 年度（下段 H29 年度）

	家事			身体			回数合計	時間合計
	利用者数	回数	時間	利用者数	回数	時間		
4月	2	10	10	1	6	6	16	16
	2	12	12	3	36	36	48	48

5月	2	10	10	1	8	8	18	18
	2	16	16	3	42	42	58	58
6月	2	12	12	1	8	8	20	20
	2	13	13	2	34	34	47	47
7月	2	12	12	1	8	8	16	20
	2	10	10	2	30	30	40	20
8月	2	8	8	1	6	6	14	14
	2	11	11	2	8	8	19	19
9月	2	7	7	1	6	6	13	13
	2	11	11	1	6	6	17	17
10月	2	12	12	1	6	6	18	18
	2	10	10	1	8	8	18	18
11月	2	13	13	1	6	6	19	19
	3	13	15	2	19	19	32	34
12月	2	9	9	1	6	6	6	15
	3	17	19.5	2	20	20	37	39.5
1月	0	0	0	1	4	4	4	4
	3	11	15.5	2	13	13	24	28.5
2月	1	2	2	1	4	4	6	6
	2	9	9	2	16	16	25	25
3月	1	4	4	1	6	6	10	10
	2	13	3	1	8	8	21	21
計	20	99	99	12	74	74	160	173
	27	146	145	23	240	240	386	375

2. 基準該当障害福祉サービス重度訪問介護事業

重度の身体障がい者等で常に介護を必要とする方に、町が決定した支給量に対して家事支援および、身体介護の支援計画を作成し福祉サービスを行いました。支援に関しては、利用者の意思及び人格を尊重し生活全般の援助、保健・医療・福祉サービスの連携に努め、適切な居宅介護を提供しました。今年度は、家事支援はなく、身体介護のみのサービスを行いました。

《重度訪問介護事業》

上段 H30 年度（下段 H29 年度）

	利用者数	利用者延回数	利用延時間	備考
4月	1	6	15	
	1	12	30	
5月	1	12	30	
	1	12	30	
6月	1	13	32.5	
	1	13	32.5	

7月	1	12	30	
	1	12	30	
8月	1	12	30	
	1	15	33.5	
9月	1	10	25	
	1	12	30	
10月	1	13	32.5	
	1	6	15	
11月	1	13	32.5	
	1	12	30	
12月	1	11	27.5	
	1	12	30	
1月	1	12	30	
	1	11	27.5	
2月	1	12	30	
	1	11	27.5	
3月	1	13	32.5	
	1	13	32.5	
計	12	139	347.5	
	12	141	348.5	

包括的支援事業

1. 生活支援体制整備事業 <受託事業>

平成30年6月27日協議体（大木ささえ隊）発足し、平成30年12月18日には大木ささえ隊作戦委員会を開催し、町全体でのささえ隊の体制を構築することができました。

発足後は、3小学校区それぞれの特性と方法で協議体の仕組みづくりを目指し、住民と協議を重ねてきました。各校区における大木ささえ隊に関する仕組みは、大溝校区と大莞校区は行政区を中心とした協議体の仕組みづくり、木佐木校区は木佐木校区活性化協議会の中に福祉部会をつくり、その中で校区のささえ隊の協議を進めていくことになりました。

1) 町全域でのサービス開発

一部の行政区の中には積極的に企業などと支え合いの仕組みづくりを進めているところもありますが、今年度においては、大木ささえ隊協議体の発足、および大木ささえ隊作戦会議の体制を整えることができました。

2) 住民によるサービス提供主体への活動支援

地域活動の担い手の養成として、全8回の大木町ボランティア養成研修を実施し、全日程修了者は大木町ボランティアとして登録していただき、当社協事業であるもみじ倶楽部・元気クラブ、町の事業であるおおき健康大学・介護予防健診にボランティアとして活動していただきました。

3) 行政からの情報提供や意見交換の促進

今年度からボランティアのポイント制度が運用され、活動回数に合わせポイントが付与されましたが、今後ボランティアの活性化を図るうえで、地域生活支援へのポイント付与やポイント数の上限、および活動の場の確保について行政と協議していくこと必要があると考えられます。

【活動報告】

(1) 大木ささえ隊（協議体）発足までの説明会及び準備会 8回

(2) 行政区説明会及び行政区ささえ隊 27行政区 32回

(3) 大木ささえ隊校区部会及び校区役員会 8回

(4) 大木ささえ隊作戦委員会 1回

(5) 大木ささえ隊の広報

(6) 大木町ボランティア養成研修

全8回（1クール4回、追加研修2回）

今年度新規登録者 16名、合計登録者 96名

(7) 大木町ボランティアステップアップ研修

ボランティア養成研修を修了し大木町ボランティアとして登録された者に対して、さらなる知識及び技術の向上として、ステップアップ研修を開催しました。

前期 平成30年9月27日(木) 10:00~12:00 参加者 16名

後期 平成31年3月5日(火) 14:30~16:00 参加者 17名

【職員研修等】

(1) 生活支援コーディネーター連絡会 3回

(2) 生活支援コーディネーターステップアップ研修 2回

(3) 地域ケア会議 5回

2. 認知症カフェ事業

<受託事業>

認知症になっても住みなれた地域で、その人らしい生活が継続できるよう、また家族等介護者の負担の軽減を目的に誰もが集える空間として認知症カフェを開設しました。イオンスーパーセンター大木店内にあるコミュニティルーム「WeWe」を利用することで地域の方も気軽に利用できるよう、将棋や編み物、お手玉などを用意し、利用しやすい雰囲気づくりを心掛けました。

また、大木町認知症初期集中支援チームと連携を図り、認知症の方や介護者への支援を行うとともに、各事業者やケアマネージャー、民生委員に参加していただき情報交換を行いました。

《 認知症カフェ利用状況 》

	実施回数	男性	女性	延人数	当事者	家族	事業者	地域住民	ボランティア	民生委員・その他	町内			町外	その他事業所等
											大溝	木佐木	大莞		
4月	1	0	13	13	0	1	2	10	0	0	8	3	0	0	2
5月	2	1	21	22	0	1	7	13	0	1	11	3	0	1	7
6月	2	3	25	28	2	2	2	20	0	2	23	1	0	0	4
7月	2	3	27	30	7	4	2	11	5	1	18	10	0	0	2
8月	2	4	16	20	4	4	2	10	0	0	10	8	0	0	2
9月	1	2	10	12	1	1	0	7	3	0	11	1	0	0	0
10月	3	3	42	45	2	3	1	32	5	2	34	7	0	1	3
11月	2	0	18	18	0	4	0	12	2	0	17	1	0	0	0
12月	2	3	16	19	2	3	0	11	1	2	15	1	0	3	0
1月	2	1	19	20	2	1	0	16	1	0	17	3	0	0	0
2月	2	1	21	22	1	2	0	18	1	0	18	4	0	0	0
3月	2	1	13	14	1	3	0	10	0	0	11	3	0	0	0
計	23	22	241	263	22	29	16	170	18	8	193	45	0	5	20

【 特別プログラム 】

- ① 健康講話「熱中症について」 溝上薬局
平成30年6月26日(火)
- ② 昔懐かしいおやつ作り「ふなやき」
平成30年7月24日(火)
- ③ アクリルたわし作り
平成30年9月4日(火)、10月2日(火)、10月30日(火)、11月27日(火)、12月4日(火)
平成31年1月22日(火)
- ④ 回想法 図書情報センター 司書
平成30年12月4日(火)、平成31年2月26日(火)

【 実習受入れ 】

- ① 帝京大学学生 3名 平成30年7月24日(火)

3. 小地域活動「ふれあいいきいきサロン」の普及事業

介護保険制度の改正に伴い、高齢者の居場所や交流の場づくりが重視されるなか、小地域を拠点に高齢者の閉じこもりや寝たきり防止、仲間づくりや生きがいづくりを目的として、地域の高齢者とボランティアがともに集える場づくりを進めるサロン事業の普及に努め、今年度は笹淵地区(3行政区1か所)のサロンが立ち上がり、24行政区19ヶ所のサロンが活動しました。

各地区のサロンでは、茶話会や食事会、レクリエーションや健康・介護予防の体操、脳トレーニング、外出行事や趣味の講座、多世代交流等それぞれの地域特性を活かした活動が行われました。

また、平成30年11月には「第7回大木町ふれあいいきいきサロン大会」を福祉フェスタと同時開催し、サロン大会の3本柱である講演会・地区サロンの発表・体操を行いました。体操では大木町独自の体操が初披露され会場が盛り上がりました。来場された方々は、各地区のサロン活動を見て住民同士の交流を深め、地元のサロンの活性化へとつなぐことができました。

第7回 大木町ふれあいいきいきサロン大会（福祉フェスタと同時開催）

実施日 平成30年11月11日(日) 10:00~12:00

場 所 こっぽーっとホール

内 容 ◆講演 講師 中原 雅美氏

演題 『みんなでつくろう「運動習慣」自宅や公民館でできる体操の紹介』

◆代表サロン発表 道本地区・十間橋地区・蛭池地区

◆体操 講師 村上 武士氏・芝原 夏樹氏 大木町『いきいき体操』

参加人数 106名

【 サロン開催状況 】

サロン名	実施回数	内容
福寿会サロン (福間北・南)	13回	出前講座、ちまきづくり、レクリエーション、昼食会等
上八院上サロン	14回	花見会、血圧測定、出前講座、育成会との芋ほり等
大角東サロン	6回	血圧測定、出前講座、レクリエーション、脳トレーニング、ぜんざい会、節分豆まき等
上八院下サロン	13回	花見会、出前講座、茶話会等
和加波サロン (荒牟田)	15回	健康体操、七夕祭り、レクリエーション園児との交流会等
牟田サロン	13回	出前講座、脳トレーニング、レクリエーション、健康体操、七夕まつり、クリスマス会、しめ縄づくり等
大角西いきいき サロン「ひまわり」	6回	脳トレーニング、音楽（フルート）、劇（水戸黄門）、つぶやき、茶話会、食事会、保育園児との交流等
横溝本村サロン	18回	花見会、ちまきづくり、出前講座、大喜楽サロン（アクアス）芋ほり、しめ縄づくりぜんざい会、苺大福づくり等
古賀サロン	6回	出前講座、夏祭り、レクリエーション等

前牟田東げんきサロン	6回	茶話会、マジックショー、脳トレーニング健康体操、育成会交流会、七夕飾り、西瓜試食会、大溝保育園児交流会、ひし料理づくり等
上白垣サロン	6回	出前講座、脳トレーニング、夏祭り、レクリエーション、健康体操、しめ縄づくり等
八町牟田上サロン (青春クラブ)	17回	健康体操、餅つき、茶話会等
五反田サロン	5回	出前講座、血圧測定、茶話会、レクリエーション、茶話会、ぜんざい会、花見等
道本サロン	7回	健康体操、脳トレーニング、合唱、レクリエーション、食事会、ペットボトルの風車づくり、しめ縄づくり、大喜楽サロン(アクアス)等
十間橋サロン	12回	花見会、食事会、手づくり人形展、レクリエーション、茶話会、プランター花植、芋ほり、干支づくり等
蛭池サロン (北・中・南)	9回	血圧測定、健康体操、レクリエーション、食事会、茶話会、懇親会、カラオケ等
高橋よかよかサロン	7回	茶話会、ヤクルト出前健康教室、健康体操レクリエーション、マジックショー等
中村サロン	6回	出前講座、レクリエーション、茶話会等
笹淵光サロン	3回	血圧測定、出前講座、健康体操、茶話会、レクリエーション等

【健康づくりセミナー】

小地域を拠点に高齢者の閉じこもりや寝たきり防止、仲間づくりや生きがいづくりを目的として、高齢者とボランティアがともに集える場づくりを進めるサロン事業の活性化を図り、サロンのリーダー育成の場として老人クラブ連合会と協働でセミナーを開催しました。セミナーの全日程修了された方には修了証と“おおき健康隊”のポロシャツを配布し、おおき健康隊として町内の地域活動や各地区のサロン活動のリーダーとして活動していただきました。

また、過去の修了者も新たな学びとしておさらいセミナーを行い、最新の知識と技術を持ったおおき健康隊員として町内の高齢者の健康づくりに貢献していただきました。

今年度は、全7回のセミナーのうち5回は健康づくりセミナー、2回はおさらいセミナーを開催しました。講師にはアクアススポーツクラブと連携して指導していただき、地域に密着した形で実施しました。参加人数26名中、修了者は15名、うち新規修了者は4名でした。平成23年度から今年度までの修了者は108名で、おおき健康隊員として活動していただきました。

- ①第1回 平成30年6月12日(火) 参加者 26名
- 第2回 平成30年7月11日(水) 参加者 26名
- 第3回 平成30年8月9日(木) 参加者 15名
- 第4回 平成30年9月21日(金) 参加者 24名
視察：サロン支援者の会サロンティア（八女市）
- 第5回 平成30年10月5日(金) 参加者 15名 全5回
講師：NPO 法人アクアスポーツクラブ 運動指導士
- ②おさらいセミナー前期
前期 平成30年9月7日(金) 参加者 30名
講師：福岡笑いヨガクラブ やまもと じゅんこ氏
- ③おさらいセミナー後期
後期 平成31年2月19日(火) 参加者 33名
講師：福岡笑いヨガクラブ やまもと じゅんこ氏

【 その他研修会等 】

平成30年度みんなが主役の元気な地域づくりセミナー
 実施日 平成31年2月28日(水) 10:30～15:30
 場 所 福岡国際会議場
 参加人数 17名

4. ふれあいいきいきサロン連絡協議会の開催

町内のサロンの情報交換と新しく立ち上がったサロンの運営がうまくいくように相互の協力体制を作るため連絡協議会を設置しています。このなかで各地域のサロン運営状況を報告したり、活動内容の情報交換を行うなど、町内のサロン全体の状況を把握しています。

- 第1回目 平成30年5月21日(月)
- 第2回目 平成30年9月11日(火)

5. 大木町老人クラブ連合会活動の支援

当社協では大木町老人クラブ連合会の事務局を担当し、老人の福祉の向上、大木町老人クラブ連合会活動及び単位老人クラブ活動の推進、地域奉仕活動を推進しました。

- ① 総会、諸会議、各研修会、各行事などの支援
- ② グラウンドゴルフ、ペタンク、ゲートボールの3大スポーツイベントの支援
- ③ 愛の一声友愛訪問事業の推進
- ④ 大木町老人クラブ連合会へ活動費を助成

障害者自立支援事業

1. 指定相談支援事業所「おおき」 <受託事業>

障がい者が日常生活で生じる様々な不安や課題に関する相談に応じ、適切な助言及び情報提供等を行い、福祉サービスの利用については関係機関と密な連絡調整をとりながら、必要な障害支援区分調査やアセスメント(事前評価)、計画作成を行いサービスの利用につなぎました。

また、福祉サービス利用者の利用状況については、モニタリング(状況確認)を行い、必要に応じて利用計画の見直しや状況把握に努めました。

大木町地域自立支援協議会において、年3回開催する実務者会議では、障がい者が地域社会においていつまでも安心して暮らしていけるよう関係機関と連携し適切な支援ができるよう協議しています。就業・生活支援センター「ぼるて」と共に月1回の出張就労相談窓口（イオンスパーセンター大木店コミュニティルーム「WeWe」）を開催しました。また、障がい者の居場所づくりとして、イオンスパーセンター大木店コミュニティルーム「WeWe」で試行的にフリースペースを開催しました。この事業について平成31年度は、毎月1回の継続的な事業として町より受託することになりました。

《 障がい者等の相談件数 》 ※延べ数 上段H30年度(下段H29年度)

身体障がい		重症心身		知的障がい		精神障がい		発達障がい		難病		その他	
者	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	児
91	22	41	8	209	81	239	0	54	52	23	0	6	3
222	21	32	4	353	82	591	0	125	49	64	0	12	11

上記の表で、件数が減っているのは、平成29年度までは細かい連絡調整等を件数に含んでいましたが、今年度より面談や電話等での相談対応、実際に支援を行った件数のみを件数として換算し、簡易な電話件数等は参入しませんでした。

《 相談内容 》 ※延べ数 上段H30年度(下段H29年度)

内 容	件数	内 容	件数
福祉サービスの利用に関する支援	532	保育・教育に関する支援	212
	556		117
家族関係・人間関係に関する支援	346	生活技術に関する支援	300
	305		248
健康・医療に関する支援	393	家計・経済に関する支援	72
	400		82
不安の解消・情緒安定に関する支援	700	就労に関する支援	238
	641		229
障がいや症状の理解に関する支援	190	社会参加に関する支援	113
	142		83
権利擁護に関する支援	5	その他	4
	7		14

【 障害支援区分認定調査 】

障害福祉サービスを利用する場合、サービスの種類によっては障害支援区分認定を受ける必要があります。そのため、町の委託を受けて、障がいのある方やその家族等と直接会って、障がいの多様な特性やその他の心身の状態に応じて必要とされる支援について、聞き取り調査を実施しました。

調査件数 32件

2. 計画相談支援事業・障害児相談支援事業

《 計画相談数 》 ※実数		上段H30年度(下段H29年度)											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規計画	16	4	4	23	3	5	6	2	6	6	2	15	92
	17	3	4	21	4	7	6	4	5	2	9	9	91
モチロン グ	8	13	9	8	28	22	7	7	31	8	10	12	163
	5	9	10	5	24	19	6	8	21	5	11	15	138

【 相談員担当者研修 】

- ① 相談支援従事者現任研修 平成30年9月5日(水)・11日(火)・12日(水)
- ② 精神障がいに関する研修 平成30年10月2日(火)、平成31年2月8日(金)
3月20日(水)
- ③ 障害支援区分認定調査員研修 平成30年6月22日(金)、11月22日(木)
- ④ ひきこもりに関する研修 平成30年7月5日(木)
- ⑤ 法に触れた障がい者に関する研修 平成30年9月8日(土)
- ⑥ スーパービジョンに関する研修 平成31年3月13日(水)・14日(金)
- ⑦ 九州地区相談支援事業合同研修会 平成30年12月13日(木)・14日(金)

【 会議等の出席 】

- ①八女筑後・久留米圏域委託相談支援事業所情報交換会 平成30年8月30日(木)
平成31年1月25日(金)
- ②精神障害者地域支援事業関係機関会議 平成30年11月8日(木)
- ③福岡県立筑後特別支援学校地域懇談会 平成30年6月30日(土)
- ④大木町要保護児童対策地域協議会実務者会議 平成30年6月12日(火)
9月1日(土)
12月14日(金)
平成31年2月26日(火)
- ⑤大木町地域自立支援協議会実務者会議 平成30年6月19日(火)
10月23日(火)
平成31年2月21日(水)
- ⑥障害者相談支援ネットワークふくおか世話人会 平成31年2月8日(金)
- ⑦指定一般相談支援事業所集団指導 平成30年6月28日(木)
- ⑧福岡県自立支援協議会連絡協議会 平成31年2月8日(金)

3. 意思疎通支援事業 <受託事業>

(1)「聞こえのサポーター&要約筆記」研修

聞こえのサポーターでは、聴覚障がい者とのコミュニケーション方法を学び、地域や職場で誰もが筆談などによるコミュニケーションがとれることを目的として開催しました。

日 時 平成30年11月17日(土) 10:00～16:00
場 所 大木町健康福祉センター 視聴覚室

参加者 28名

講義内容 ①「聞こえのサポーター」講座・福岡県要約筆記連合会の紹介

- ・聞こえの仕組みについて
 - ・コミュニケーションの方法
 - ・コミュニケーションツールの紹介
 - ・話し方の工夫
 - ・合理的配慮
 - ・実際の生活風景の映像を見る
 - ・筆談のポイント
 - ・2人ペアで、読唇でのコミュニケーション体験
 - ・各グループでの筆談体験

②「要約筆記体験」講座

- ・実際にパソコンを使用したタイピングと手書きでの要約筆記体験

講師 福岡県要約筆記連合会

(2) 手話講座

手話の経験が無くても興味のある方を対象に、身振りや指文字といったコミュニケーション方法、自己紹介やあいさつ程度の会話を学ぶことを目的として開催しました。

実施日 平成31年2月19日(火) 13:00~14:30 健康福祉センター
19:00~20:30 子育て支援センター
平成31年2月26日(火) 13:00~14:30 健康福祉センター
19:00~20:30 子育て支援センター
平成31年3月5日(火) 19:00~20:30 子育て支援センター

内容 1日目 世界的な手話の状況、日本での手話の状況等、指文字の学習
2日目 自分の名前を手話で学び、自己紹介やあいさつを受講者同士で発表
3日目 2日間の振り返り、指文字や自分の名前の手話の確認、自己紹介やあいさつを受講者同士で発表
その他、手話奉仕員養成講座「入門編」(平成31年度開講)のお知らせ
大木町手話サークル「なないろ」のメンバーによる活動紹介

講師 柳川手話の会、柳川市聴覚障害者協会

4. 日中一時支援事業所「ともだち」

障がい児が基本的な生活習慣を習得し、集団生活や環境に適応できるよう支援を行うとともに保護者の就労の負担軽減および育児支援を積極的に行いました。また、自立生活に役立つような調理実習、体力づくりや運動機能向上のためのスポーツ教室に参加し、「もみじ倶楽部」の参加者との世代間交流、食物を育て収穫し有難くいただく食育等の体験活動を行いました。

平成23年の事業開始時期には当社協以外大木町内に全くなかった障がい児の預かり事業所が、近年では放課後等デイサービスや他の日中一時支援事業所が開所され、日中一時支援事業「ともだち」の利用者数も減ってきたため、大木町内において当社協としての役割を果たしたと判断し、平成31年3月31日をもって日中一時支援事業「ともだち」は休止することとなりました。

【放課後型】 15:00~18:00 毎週火曜日・水曜日・木曜日・金曜日

【一日型】 9:00~17:30 毎週土曜日
※春・夏・冬の長期休暇は、火曜日・水曜日・木曜日・金曜日

《日中一時支援事業「ともだち」利用状況》 上段H30年度(下段H29年度)

	未就学児	小学生	中学生	高校生	高校卒業 以降	計
4月	0	5	12	5	0	22
	0	12	13	31	0	56
5月	0	5	15	2	0	22
	0	10	14	19	0	43
6月	0	6	14	0	0	20
	0	5	14	14	0	33
7月	0	4	9	3	0	16
	0	4	9	10	0	23
8月	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
9月	0	5	13	5	0	23
	0	7	13	14	0	34
10月	0	7	8	0	0	15
	0	7	12	11	1	31
11月	0	5	15	0	0	20
	0	6	12	19	1	38
12月	0	5	10	0	0	15
	0	7	13	20	0	40
1月	0	5	13	0	0	18
	0	4	10	12	0	26
2月	0	6	8	0	0	14
	0	6	14	21	0	41
3月	0	3	3	1	0	7
	0	4	11	16	0	31
計	0	56	120	16	0	192
	0	72	135	187	2	396

【一日型】

上段H30年度(下段H29年度)

	未就学児	小学生	中学生	高校生	高校卒業 以降	計
4月	0	5	2	6	3	16
	0	4	1	18	3	26
5月	0	1	0	4	2	7
	0	2	0	5	0	7
6月	0	4	0	9	8	21
	0	3	1	11	7	22
7月	0	6	1	10	1	18
	0	5	0	17	2	24
8月	0	12	5	30	0	47
	0	14	13	40	1	68

9月	0	3	1	5	3	12
	0	3	3	3	3	12
10月	0	1	0	6	5	12
	0	3	1	12	5	21
11月	0	3	0	3	4	10
	0	3	0	8	4	15
12月	0	2	0	8	2	12
	0	5	1	11	3	20
1月	0	1	0	4	1	6
	0	2	0	8	3	13
2月	0	2	0	6	4	12
	0	2	0	4	6	12
3月	0	5	3	6	3	17
	0	7	2	14	5	28
計	0	45	12	97	36	190
	0	53	22	151	42	268

※7月7日(土)は豪雨のため中止

※10月6日(土)は台風のため中止

【体験事業等】

- ① バスハイク・見学
平成30年 7月31日(火) 久留米市「福岡県青少年科学館」
平成30年 11月17日(土) 筑後特別支援学校「学習発表会」見学
- ② 買い物学習
平成30年 8月24日(金) イオン大木店
- ③ 調理実習
平成30年 6月16日(土) カレー作り
平成30年 7月26日(木) ゴーヤチャンプル作り
平成30年 8月7日(火) そうめん流し
平成30年 10月20日(土) パン作り
平成31年 2月2日(土) 恵方巻き
平成31年 3月2日(土) ちらし寿司
平成31年 3月16日(土) だご汁作り
- ④ スポーツ教室(木佐木小学校 体育館)
平成30年 5月19日(土)14:00～15:30
平成30年 11月24日(土)14:00～15:30
平成31年 1月19日(土)14:00～15:30
- ⑤ ともだち農園づくり
平成30年 4月28日(土)夏野菜・朝顔の苗植え・水やり
平成30年 6月上旬より収穫開始(キュウリ・トマト・なす・オクラ・ゴーヤ・かぼちゃ)
- ⑥ 大木町図書・情報センター行き
平成30年 4月5日(木)、6月9日(土)、7月27日(金)、8月23日(木)、10月2日(火)
10月13日(土)、平成31年 1月8日(火)、1月19日(土)、3月9日(土)
- ⑦ 「ぶっくらぶ大木」本の読み聞かせ
毎月第3水曜日 16:00～16:30
- ⑧ 外部からの研修等の受入れ
教職員 前期社会体験(社会奉仕・貢献活動)研修

平成 30 年 7 月 24 日(火)	大木中学校教諭	1 名
平成 30 年 8 月 2 日(木)・3 日(金)	大溝小学校教諭	1 名
平成 30 年 8 月 7 日(火)	木佐木小学校教諭	1 名

共同募金配分金事業

自分たちの住む地域を自分たちでより豊かにするために、お互いが助け合ってよりよい地域社会を作り上げるという連帯の精神 ～たすけあいの精神～ の大切さを確認し合うこと、これが共同募金運動の重要な目的です。当社協では地域福祉の充実を図るため5つの事業に分けて実施しました。

平成 30 年 7 月の豪雨災害および 9 月に発生した北海道胆振東部地震では、当社協、町、日本赤十字大木町分区の 3 団体が協力して町内 10 か所（役場、図書情報センター、総合体育館、シルバー人材センター、健康福祉センター、アクアス、道の駅おおき、WAKKA、大溝コミュニティセンター、大莞コミュニティセンター）に義援金箱を設置し、たくさんの方から義援金をいただきました。いただいた義援金は 3 団体で分割し、当社協分は全額共同募金へ納付しました。

1. 高齢者福祉活動事業

【 高齢者のひとり暮らし交歓会の開催 】

春の気候の良い時に民生委員・児童委員の協力により、町内の 70 歳以上のひとり暮らし高齢者等をバスで送迎して外出しました。外出先の施設では、参加者全員でレクリエーションや昼食を楽しんだ後、近隣の観光スポットへ出かけ、季節感を味わう散策や買い物を楽しみ親睦を深めました。

実施日 平成 30 年 5 月 15 日(火)
 場所 大川市ふれあいの家・神野公園・さが風土館季楽
 内容 レクリエーション・食事・鍋島直正公別邸見学・買い物
 参加人数 対象者 50 名・民生委員 20 名・スタッフ他 10 名 計 80 名

2. 児童・青少年福祉活動事業

【 福祉映画 】

社会福祉への理解と関心を深め、思いやりのある心、感謝の心を育てるために、各小学校全児童を対象に福祉映画「ハッピーバースデー」の鑑賞会を実施しました。

「ハッピー バースデー」(あらすじ)

母から愛されず辛い日を送っていたあすかが、12 歳の誕生日に「あんたなんか生まなきゃよかった」という母の言葉に傷つき声が出なくなってしまう。しかし、兄の勧めで自然に囲まれた農村である母の実家に行き、おじいちゃんやおばあちゃんの愛に触れ、心と声を取り戻す。その後元の学校に戻ったあすかは、クラス内のいじめにも立ち向い、重度障がいのめぐみと交流する中で命の尊さ・生きることの素晴らしさを学ぶ。

【 保育園・幼稚園・小学校の福祉教育活動の推進 】

各保育園・幼稚園・各小学校・中学校へ福祉教育活動計画書により助成

- ① 町内各保育園・幼稚園へ 1 万円の助成
- ② 町内中学校・各小学校へ 4 万円の助成

3. 福祉育成援助活動事業

【 社協だより発行 】

町民へ当社協活動の理解と協力を深めるため、「社協だより」を年4回（4月、7月、10月、1月）発行し全戸に配布しました。当社協が実施している事業や各地区のサロン、福祉団体の紹介、各種セミナーの案内や事業報告・決算報告などを掲載しました。

【 ホームページ公開 】

今週のトピックスでは新しい情報を掲載し、当社協の事業紹介、事業報告・決算報告、近隣市町村の福祉に関する情報等福祉関連の情報を提供しました。

【 福祉教育読本「ともに生きる」の配布 】

子どもたちの福祉への関心と思いやりの心の育成をするために、福岡県社会福祉協議会が作成した教育読本「ともに生きる」を要望があった木佐木小学校の5年生に配布しました。

配布日 平成30年5月

4. ボランティア活動育成事業

ボランティア活動の育成として、手話奉仕員養成講座の開講やボランティア保険の助成、その他ボランティア団体への支援を行い、ボランティア研修として福岡県社会福祉協議会が実施する「きずなフェスティバル」に参加募集し、希望されたボランティアが参加しました。

平成31年2月17日(日) きずなフェスティバル 参加者 14名

【 団体活動支援 】

① 大木町身体障害者福祉協議会の活動支援

身体障がい者(児)・知的障がい者(児)・精神障がい者(児)（発達障がいを含む）の福祉増進と社会参加を目的に活動支援を行いました。

- ・活動費の助成
- ・平成30年度定期総会資料作成などの事務支援
- ・行事等の活動支援

② みすゞの会への支援

- ・活動費の助成
- ・大木町障がい者軽スポーツ教室の支援

③ 大木町母子福祉会への支援

母子会の新たな会員の募集とともに、団体活動を見直し会員が今必要とされていることとして学習支援を強く要望されたことから、春休み・冬休みに学習支援を行いました。

- ・活動費の助成
- ・総会、レクリエーションの支援
- ・平成30年冬休み、平成31年3月春休みの学習支援 計9日
- ・市郡会長、母子部役員会等の支援

【 災害ボランティア保険料の全額補助（町民のみ） 】

国内で起きた災害ボランティア活動をする場合、ボランティアが住んでいる地域の社協でボランティア保険に加入後、被災地の災害ボランティアセンターに行き活動することになっています。そのため、当社協では、町民が各地の災害ボランティアセンターへボランティア活動に行かれる場合は、活動支援としてボランティア保険料の全額を助成することとしています。

今年度に起きた久留米、広島、大阪等での災害ボランティア活動保険の申し込みをされた方にボランティア活動保険料を助成しました。

- ・今年度ボランティア活動者数 10名（JA団体を含む） 有効期限：平成31年3月31日

5. 歳末たすけあい配分金事業

歳末たすけあい募金は、支援を必要としている地域の方が安心してその地域で暮らしていけるように地域活動等に配分されている募金です。平成30年12月1日から12月31日に寄せられた募金は、当年度の事業として町内の地域福祉活動の支援として活用しました。

【 ボランティア団体への助成 】

当社協に関わるボランティア団体に対し、活動計画の助成金申請に沿って団体活動助成金を支給しました。(8団体)

【 サロン事業助成 】

平成29年度に集まった募金のうち30万円を平成30年度のサロン活動の助成金として配分し、21行政区18ヶ所の開設地区サロンに、活動助成金として支給しました。

【 生活支援費 】

一時的に経済困窮に陥っている人、緊急的に何らかの理由で生活が困難になっている人に対し、詳細に状況を聞き取り、その人の生命の維持と生活の安全を考慮したうえで、経済的困窮者には返済方法を含めたお金の貸付け（生活福祉資金の対象にならなかった人、または生活福祉資金申請に至るまでの時間的余裕がなかった人）や現物支給を行い、また虐待等受けている人の安全の確保に努めました。その後は、関係機関とともにその人の様々な支援へとつなぎました。

今年度の対象者 生活支援費の貸付け 3件（年度内に全額返済）
現物給付 1件（食料品）

【 災害支援事業助成 】

町内で起こった火事・災害などの被害者に対し助成を行います。今年度は、災害がなく該当者がいなかったため支給していません。

福祉フェスタ

平成29年度に引き続き一日を通して赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金活動を知っていたくための啓発と、午前中はふれあいいきいきサロン大会、午後は障がい者スポーツ大会を同時開催し、より多くの町民に来ていただけるような企画で実施しました。

今年度は、福祉施設等障がい者の関連機関や町内のボランティア団体にも多数参加していただき、福祉についての様々なアピールができました。

開催日 平成30年11月11日（日）9：00～16：00

場 所 大木町総合体育館

テーマ やさしい想い つながる笑顔

【 主な実施内容 】

- ①パラスポーツ体験(車いすバスケット・ボッチャ)
- ②障がい者就労支援事業所による販売会
- ③各関連機関および町内のボランティア団体によるブース設置、活動披露
- ④大木町ふれあいいきいきサロン大会、各地域サロンのPRポスター展示
- ⑤大木町障がい者スポーツ大会

苦情解決の第三者委員設置

社会福祉法第 82 条により、社会福祉事業者には利用者の権利擁護と福祉サービスの質的向上を図るため、福祉サービス事業に関する利用者等から寄せられる苦情に適切に対応し、解決することが義務付けられています。この法に則り、当社協は、苦情解決第三者委員会を設置しています。

また、福岡県社会福祉協議会主催の研修会に参加することより、苦情解決事業への一層の理解と第三者委員等の役割について研修を受け、福祉サービス向上に努めました。

今年度中の苦情に関する受付はありませんでした。

災害ボランティアセンターへの職員派遣

福岡県社会福祉協議会より、派遣依頼があった災害ボランティアセンターへ職員の派遣を行いました。広島県への派遣依頼には遠方であったため、対応できませんでした。

派遣先 久留米市災害ボランティアセンター

派遣日 平成 30 年 7 月 11 日（水）～7 月 16 日（月）

派遣人数 2 名

その他研修等

当社協職員の技術のスキルアップと新しい情報の取得、並びに社協職員の情報交換や交流を深めるために様々な研修に参加した。

- ①社会福祉協議会職員研修
- ②生活福祉資金研修
- ③共同募金研修
- ④地域福祉研修
- ⑤社会福祉協議会会計の研修
- ⑥ふくおかライフレスキュー事業サポーター養成研修
- ⑦福岡県盲人福祉大会
- ⑧災害ボランティアセンター運営に関する研修
- ⑨新任職員研修
- ⑩広報研修
- ⑪高齢者相互支援推進事業研修
- ⑫キャラバンメイト養成研修
- ⑬民生委員児童委員協議会視察研修
- ⑭福岡県社会福祉大会
- ⑮九州ブロック地域福祉研究会議
- ⑯感染症予防研修
- ⑰ロコモ予防推進員研修
- ⑱介護予防担当者研修